

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立さかえ小学校（埼玉県）【指定校】

【取組内容】 道徳教育における個別の学びと協働的な学びとを結びつけるICT活用【4年 特別の教科道徳】

○教材「かなちゃんへの手紙」（出典：彩の国のどうとく「みんななかよし」）埼玉県教育委員会
 →教材に出てくる「わたし」の心の変化をタブレット端末を活用して自己内対話を行ったり
 【個別】 クラス全体で考えを共有し、互いの考えをとおして自己を見つめたりする【協働】
 学習でICTを活用。



遊ぶ約束をしていたにも関わらず、急に遊べなくなってしまった「かな」に対して、悪口を書いた手紙を「かな」の机にこっそり入れようとしていた。その時の「私」の気持ちをタブレットに入力する。

※教師は児童が【怒っている】【手紙を渡してはいけない】のどちらの気持ちなのかを入力するシートを用意

【下画像】

怒っている	渡してはいけない

児童一人一人が考えた「私」が手紙を破った理由について考えさせ、端末に入力。その後、グループでお互いの考えを交流しながら『相手への思いやりのある行動』について考えさせる。【下画像】

わたしが手紙をやぶった わけ	わたしが手紙をやぶった わけ	わたしが手紙をやぶった わけ	わたしが手紙をやぶった わけ
自分の考え わたしが手紙をやぶった わけ わたしが手紙をやぶった わけ	自分の考え わたしが手紙をやぶった わけ わたしが手紙をやぶった わけ	自分の考え わたしが手紙をやぶった わけ わたしが手紙をやぶった わけ	自分の考え わたしが手紙をやぶった わけ わたしが手紙をやぶった わけ
3 5 4 4 4 6	3 6 6 5 5 6	3 3 3 2 2 3	1

【実践から見てきたこと】

道徳科では、「考え、議論する」ことが肝要である。対話を通して、ねらいとする価値について、他者の考えを参考にしながら自己の考えを深めていく。他者参照しながら自己の生き方を見つめることがICTで容易になるが、自らの考えを放棄するということに繋がらないよう、留意して指導していく必要がある。